

# 大好き！絵本

初瀬 恵美



『ひかりかがやく  
あかちゃん』

文：ヴィッキー  
絵：ジュリア・シール  
訳：問川みゆき  
出版社：サンパウロ

今年は、いつまでも暑く、やっと冬がきたかと思ったら朝晩は冷え込み、日中はぽかぽか陽気だったりと気温差が激しく、体温調節が追いつきません。そして、気がつけばもう12月。園では、クリスマスの飾りつけが行われたり、子どもたちの聖劇（イエス様のお誕生を劇にしたもの）の歌が響いて、クリスマスが近づいてきたことを実感しています。

今月は、最初のクリスマスの出来事をフクロウを通して語る『ひかりかがやく赤ちゃん』の絵本を紹介します。

ベツレヘムのまちの馬小屋に一羽のフクロウが住んでいました。古くて、みすぼらしく、おまけに薄暗い馬小屋

に牛とロバも住んでいました。牛とロバは物知りで「かみさまは むかし くらい まちにひかりが さすと よろこびがおとずれると やくそくを したそうだよ。」とフクロウに話してくれました。

フクロウはその話を聞くと嬉しくなって「その ひかりを さがしに いきます。」と飛び立っていきました。そして、明るい太陽や月に、馬小屋で輝いて下さいとお願いしてまわりましたが、断られてしまいました。悲しくなって戻ったフクロウがひつじかいたちの所を通ると、何とそこに天使があらわれたのです。そして、天使たちは「フクロウさん こわがらないでください。かみさまの よろこびが おとずれたのです。あいの ひかりが あふれていますよ。」と教えてくれたのです。驚いたフクロウは、急いで馬小屋に戻りました。すると、馬小屋の扉やすき間からは金色に輝く光があふれ出していました。そして、中には神様のひとりごイエス様がお生まれになり、沢山の人がお祝いに訪れていたのです。フクロウは、古くても、楽しくなったすみかをみまわし、羽をひろげ、踊ったのです。

神様のひとりごが、地上にお生まれになった、最初のクリスマスの夜のできごとでした。

かわいいフクロウを通して、語られる「最初のクリスマスの夜のできごと」は、心温まる絵本です。どうぞご覧になられてみてください。

## 誕生日おめでとう

